

河野廣中 ひろなか 民権運動家、政治家。嘉永二年七月七日薩摩國二春  
生れ、大正十二年十二月二十九日歿（八四九一・九三）。幼名大吉、通稱  
信太郎、雅夫。號無得居士、磐洲。明治八年白陽社、十一年二師社を  
結成し、國會開設請願運動を起す。十四年自由黨結成に参劃、福島縣  
議會議長となり、福島事件に下獄。二十二年衆議院議員（普選十四回）、  
二十六年同議長、二十八年日比谷燒打事件に連坐、大正四年農商務相  
就任。

著書に『織田信長』（合著・小川多一郎編、明治四十四年五月十日隆  
文堂書店「偉人研究」）、『威書録』（星亨・愛澤寧監今日著、大正一  
年十一月愛澤寧監刊、無刊記）等。福島事件を題材にした、河野野史  
作の『二春落花生獄裏夢』（明治二十年四月イーグル書房）がある。

